

## 平成 18 年度試験研究成果書

区分	指導	題名	アカスジカスミカメの水田内侵入様式		
[要約] アカスジカスミカメは水田中央部まで侵入する。このため、本種を対象とする薬剤防除は全面散布とする					
キーワード	水稲	アカスジカスミカメ	水田内侵入様式	病害虫部	病理昆虫研究室

### 1 背景とねらい

本県ではカスミカメムシ類による斑点米被害が多発しており、適切な防除対策が求められている。昨年、薬剤散布方法が額縁防除と推定される圃場(図1)が目立ったことから、アカスジカスミカメの水田内への侵入様式について検討した。

### 2 成果の内容

(1) アカスジカスミカメ成虫は水田中央部まで侵入する(図2～3)。このことから、本種を対象とする薬剤防除は全面散布とする。

### 3 成果活用上の留意事項

- (1) 調査はアカスジカスミカメ成虫が多く認められる、穂揃2～4日後に実施した。
- (2) 北海道では、アカヒゲホソミドリカスミカメにおいても水田全体に侵入することが報告されている。

### 4 成果の活用方法等

#### (1) 適用地帯又は対象者等

アカスジカスミカメを優占種とする水田

#### (2) 期待する活用効果

適切な防除対策を行うことで、斑点米防止効果を高める。

### 5 当該事項に係る試験研究課題

(H16-18)安心安全な水稲栽培技術の総合実証(3)発生予察に基づく水稲害虫の効率的防除体系の広域的実証(H16～H18 県単)

### 6 参考資料・文献

- (1) 発生環境(水田雑草、割れ穂の多少)に応じた斑点米防止対策(追補) 発生生態からみたアカスジカスミカメの重点防除時期 平成17年度研究成果
- (2) 八谷和彦(1999)アカヒゲホソミドリメクラガメの水田への侵入と発生予測 植物防疫 53:268-272

### 7 試験成績の概要

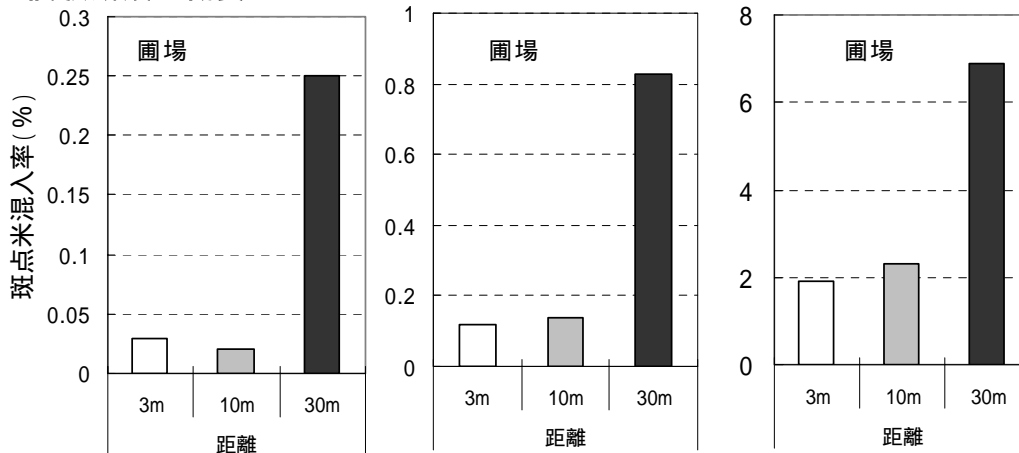


図1. 畦畔からの距離別斑点米混入率  
(2005年奥州市江刺区)

30m地点の斑点米混入率が高く、  
額縁防除と推定される

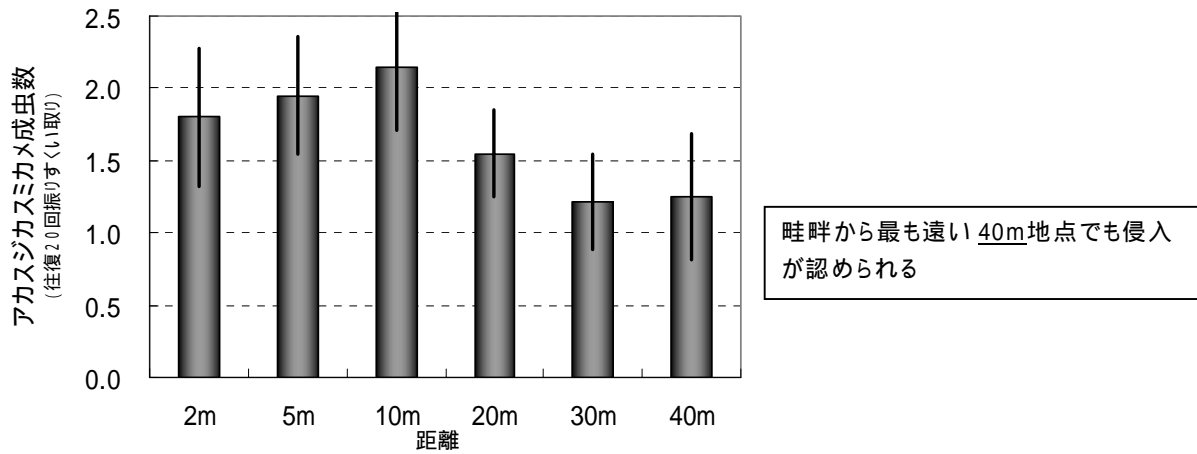


図2. 畦畔からの距離とアカスジカスミカメ成虫数との関係  
 バーは標準誤差を示す。調査地点数：2-20m:各20, 30m:19, 40m:12

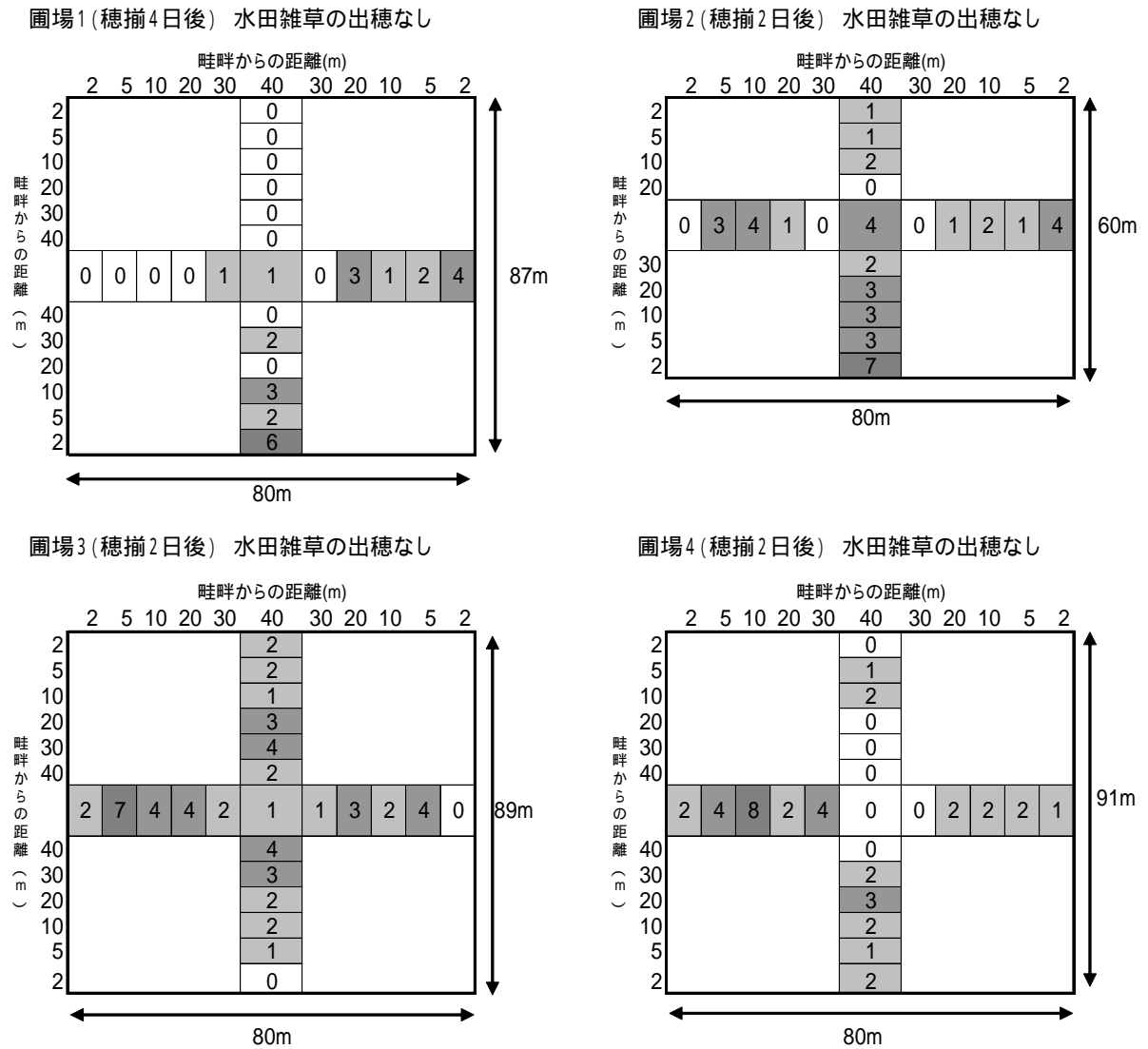


図3. アカスジカスミカメ成虫の水田への侵入

図中の数字は往復20回振りすくい取り調査によるアカスジカスミカメ成虫数を示す (調査日:2006年8月15日、調査場所:奥州市江刺区稲瀬)

水田雑草の出穂がなくてもアカスジカスミカメ成虫は中央部まで侵入する